

平成 27 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 2,665,193 円

※決算額は管理費部分を除く純事業費を記載（以下同様）

1. 外国人の受入拡大事業 1,941,259 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域と交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでの相互交流の一層の拡大を図った。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

ア 中国黒龍江省との友好交流促進事業

(ア) 日本語教師派遣支援事業〔県委託事業〕

黒龍江省への日本語教師 1 名の派遣に対し助成を行った。

(イ) 黒龍江省との交流事業

黒龍江省対外友好協会他と連携し、黒龍江省で日本語を学ぶ学生を対象に、ハルビン市において「新潟杯」日本語演劇大会を開催した。副賞として、個人最優秀者 3 名を平成 28 年 4 月に新潟旅行に招待する。

【日本語演劇大会】

期日：10 月 11 日(日)

会場：ハルビン師範大学(ハルビン市)

出場者：12 チーム 70 名(観覧者約 400 名)



日本語演劇大会

イ モンゴルとの友好交流促進事業

(ア) モンゴルへの技術協力事業

(特活)新潟県対外科学技術交流協会他関係

団体とともに実行委員会を組織し、次の技術協力事業を実施した。

a モンゴル国緑化推進技術協力事業〔JICA 草の根技術協力事業〕

東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺の緑化に貢献することを目的に、専門家を派遣するとともに研修生を受け入れた。

・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県(国際課、林政課、森林研究所)、
(公財)環日本海経済研究所、(公財)新潟県国際交流協会

b モンゴル国中小都市の中小企業等への技術協力事業

〔新潟・国際協力ふれあい基金事業〕

モンゴルにおける製造業を中心とする技術力の向上及び地域の経済発展に貢献することを目的に、研修生を受け入れた。

・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県(国際課)、
(公財)環日本海経済研究所、(公財)新潟県国際交流協会

c モンゴル国ウランバートル市地区排水技術協力事業

[JICA 草の根技術協力事業]

ウランバートル市の技術者の道路排水技術の向上を図り、道路湛水被害を軽減させ都市機能の向上に寄与することを目的に、専門家を派遣するとともに研修生を受け入れた。

・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県(国際課、都市整備課)、
(公財)環日本海経済研究所、(公財)新潟県国際交流協会

(4) 「NIMO 新潟モンゴル会」との連携事業

県内在住のモンゴル出身者等により組織された民間交流団体である「NIMO 新潟モンゴル会」と連携して「モンゴルフェア in 新潟 2015」を開催し、ゲル展示や馬頭琴演奏会により、県民のモンゴル文化への理解促進を図った。

・期日及び会場：5月16日(土)～17日(日)、朱鷺メッセ

・内容：ゲル展示、馬頭琴演奏会、民族衣装の試着体験、特産品の展示販売、写真展等

(2) 留学生就職支援セミナー

新潟県内の大学や専門学校等で学ぶ留学生を対象に、日本での就職活動や企業で働くために必要となる基本的な知識を提供するとともに、企業との意見交換会を実施した。

【第1回】

・期日及び会場：6月15日(月)、朱鷺メッセ

・参加者：留学生84名、企業等19名、講師・主催者等10名、計113名

・内容：第1部 講演「日本の就職活動とは-留学生が知っておくべき基礎知識-

(株)マイナビ新潟支社キャリアサポート課長 藤井純一氏

第2部 講演「留学生の就職に伴う在留資格」

南国際行政書士事務所代表 南直人氏

第3部 留学生採用実績のある企業からのコメント

フジイコーポレーション(株)、(株)シアンス、(株)キタック

【第2回】

・期日及び会場：10月5日(月)、朱鷺メッセ

・参加者：留学生26名、企業等25名、講師・主催者等11名、計62名

・内容：第1部 講演「留学生の就職に伴う在留資格について」

南国際行政書士事務所代表 南直人氏

第2部 県内企業で働く留学生OB・OGからのアドバイス

第3部 留学生と企業の意見交換会

① 参加企業による自社紹介

② 意見交換会



留学生就職支援セミナー

2. アジアを知る事業 448,568円

(1) 国際理解セミナー

多様な姿で急速に発展し、世界の中で重要な役割を果たすようになってきているアジアの社会・文化等を学ぶ国際理解セミナーを、県内大学の教授や県内 NPO の活動家等を講師として、県内 4 地区で計 10 回開催した。

ア 新潟市

① 「北東アジアの『朝鮮人社会』と日本」

新潟県立大学教授 権寧俊氏

- ・期日及び会場：10月25日(日)、駅南貸会議室 KENTO
- ・参加者：45名

② 「遊牧伝統と都市化のはざままで～現在モンゴルの実像～」

新潟大学教授 白石典之氏

- ・期日及び会場：11月1日(日)、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
- ・参加者：35名

③ 「イスラーム教徒の生活と文化～異文化理解のために～」

新潟国際情報大学教授 小山田紀子氏

- ・期日及び会場：11月3日(火・祝)、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
- ・参加者：46名

④ 「わたしを突き動かしたもの～ネパールにかけた思い～」

にいがた NGO ネットワーク理事 原千賀子氏

- ・期日及び会場：11月8日(日)、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
- ・参加者：36名

⑤ 「大黒屋光太夫の見たロシア」

新潟大学非常勤講師 中谷昌弘氏

- ・期日及び会場：11月15日(日)、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
- ・参加者：40名

⑥ 「新潟の環日本海交流～これからの課題～」

新潟県立大学教授 櫛谷圭司氏

- ・期日及び会場：11月29日(日)、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
- ・参加者：32名

イ 南魚沼市

① 「中国の今後について」

国際大学副学長 信田智人氏

- ・期日及び会場：10月2日(金)、国際大学
- ・参加者：72名



国際理解セミナー(ネパール)

ウ 柏崎市

①「台湾の食とお茶」

新潟産業大学教授 詹秀娟氏

- ・期日及び会場：10月24日(土)、柏崎市民プラザ
- ・参加者：27名

エ 上越市

①「ベトナムに生きるハンセン病の人びと」

新潟県立看護大学准教授 渡辺弘之氏

- ・期日及び会場：10月17日(土)、上越市市民プラザ
- ・参加者：30名

②「現代ネパールにおける地震と国際協力」

元国立医療研究センター研究所長 倉辻忠俊氏

- ・期日及び会場：10月31日(土)、上越市市民プラザ
- ・参加者：34名

3. 受け皿整備事業 275,366円

(1) ホストファミリー整備事業

国際理解の推進と海外からの来県者のホームステイ先の拡充を図るため、ホストファミリー経験者のスキルアップや未経験者への情報提供を行うホストファミリー実践講座・説明会を開催した。また、参加者を対象に外国語指導助手(ALT)や留学生の1泊2日のホームステイ受入体験を実施した。

さらに、平成28年度の受入体験に向けた説明会を開催した。

ア ホストファミリー実践講座・説明会

① 上越会場

- ・期日及び会場：7月11日(土)、上越市市民プラザ
- ・参加者：日本人13名、ALT3名

② 長岡会場

- ・期日及び会場：8月9日(日)、まちなかキャンパス長岡
- ・参加者：日本人11名、留学生8名

③ 新潟会場

- ・期日及び会場：8月22日(土)、新潟県国際交流プラザ
- ・参加者：日本人18名、留学生・ALT7名



ホストファミリー講座

イ ホームステイ体験

- ・10月3日(土)～11月1日(日)の間の週末1泊2日を実施
- ・参加者：15家庭、留学生・ALT17名

※アンケートに回答した受入家庭に対し、受入1名につき3,000円を補助した。

ウ ホストファミリー講座<春>

- ・期日及び会場：平成28年3月20日(日)、万代島ビル
- ・参加者：日本人29名、留学生24名

II 国際協力活動の支援 7,419,460 円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金事業 7,419,460 円

(1) NGO 等への助成

海外の開発途上国や紛争被災地で活躍する NGO の人道援助活動等に対する財政支援等を通じ、新潟からの国際協力の推進を図ることを目的に、「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、1 団体当たり 100 万円を限度に助成金を交付した。

・助成実績：9 件、計 6,676,000 円

(2) 基金運営

ア 審査委員会の運営

助成対象の審査等を行う審査委員会を開催した。

・期日：12 月 11 日(金)

・会場：新潟県国際交流協会

イ 募金活動

市町村役場や県内各地の日帰り温泉施設及び宿泊施設等に引き続き募金箱の設置を依頼し、広く県民に「新潟・国際協力ふれあい基金」事業の周知を図るとともに、県民から基金への寄附を募った。

ウ 募金実績

(単位：円)

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
募金額	159,956	137,714	125,993	122,786	109,576
累計	15,042,193	15,179,907	15,305,900	15,428,686	15,538,262

Ⅲ 多文化共生の支援 26,443,240 円

5. 国際理解推進事業 5,461,646 円

(1) 広報誌の発行

県内における国際交流や多文化共生推進の取組を紹介することにより県民の国際理解を促進するため、県民を対象とした広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学等や公共施設等に配付した。

- ・発行時期：7月(第4号)、9月(第5号)、平成28年1月(第6号)、3月(第7号)
- ・配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体等 計14,000部
【英語版】 県内大学等、公民館、図書館、市町村等 計4,000部

(2) 国際交流プラザ講座

新潟県国際交流プラザにて、国際交流員やJICAボランティア経験者等が講師となり、出身国の文化や海外ボランティア活動等について児童・生徒に紹介した。

- ・講座実施数：5回(小学生1回、中学生1回、高校生3回)

(3) 国際交流プラザでの展示等

県民の国際理解を促進するため、新潟県国際交流プラザにおいて各種展示やイベントを実施した。

① 世界遺産写真展

期間：7月25日(土)～8月9日(日)

② アジア子ども絵日記展

期間：8月10日(月)～31日(月)

③ 親子で楽しむ特別講座ロシア編

期日：8月1日(土) 参加者：26名

④ 親子で楽しむ特別講座ベトナム編

期日：8月29日(土) 参加者：15名



親子で楽しむ特別講座ロシア編

(4) 国際理解教育推進協議会

県内の各学校における国際理解教育の推進を図ることを目的として、教育関係者や教育関係機関で構成する国際理解教育推進協議会を設置し、ともに活動を行っている。なお、協議会の総会を平成28年2月25日(木)に開催した。

(5) 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

学校での教科や「総合的な学習の時間」又はクラブ活動における国際理解に関する学習及び国際理解に関する地域活動についてプレゼンテーションを行うコンテストを新潟県国際理解教育推進協議会と連携して開催した。コンテストは中

学生部門と高校生部門に分けて実施し、副賞として各部門最優秀チームを海外スタディツアーに派遣した。

【プレゼンテーションコンテスト】

- ・期日及び会場：12月12日(土)、朱鷺メッセ
- ・参加チーム数：中学生部門9、高校生部門10
- ・最優秀賞：
 - 〈中学生部門〉早通中学校(新潟市立早通中学校)チーム
「戦争と平和と私」
 - 〈高校生部門〉Don't Be Sheep(県立直江津中等教育学校)チーム
「Positive Thinking」



プレゼンテーションコンテスト

【スタディツアー】

- ・派遣期間：平成28年3月26日(土)～29日(火)
- ・派遣先：韓国ソウル市
- ・参加者：生徒12名、指導者3名
- ・活動内容：国立伝統芸術学校見学及び交流会、ホームステイ、新潟県ソウル事務所訪問、ソウル市内見学等

6. 在住外国人支援事業 2,205,720円

(1) 外国人生活相談事業

主に県内の在住外国人が文化・習慣や制度の違い等から直面している生活上の諸問題について、その解決をサポートするため、通訳員を配置して相談業務を実施した。また、月1回、行政書士が来所して相談に対応した。

- ・対応言語：4カ国語(日本語、英語、中国語、タイ語)
- ・相談件数：168件(延べ回数375件(来訪134件、電話241件))
- ・相談内容：在留手続き、労働、教育、結婚・離婚等

(2) 相談員・通訳員育成

県内で外国人生活相談に対応する相談員や通訳員の資質向上を図る研修会を実施した。

- ・期日及び会場：平成28年3月11日(金)、朱鷺メッセ
- ・講師：東京入国管理局新潟出張所統括審査官 松田一之氏

(3) 相談関係機関との連携

ア 「1日入管インフォメーションセンター」の開設

主に外国人の在留資格等についての相談を受ける「1日入管インフォメーションセンター」を東京入国管理局とともに開設した。

- ・期日及び会場：6月11日(木)、新潟県国際交流協会
- ・相談件数：10件

イ 新潟県行政書士会との相談会の開催

在留資格等の専門的な分野を中心とする外国人相談会を新潟県行政書士会との共催により開催した。

- ・期日及び会場：11月25日(水)、新潟空港 CIQ 棟会議室
- ・相談件数：6件

(4) 外国籍児童生徒就学支援

日本語を母語としない子どもと保護者等を対象に、日本の学校制度や高校入試等について通訳者を交えて説明する地域懇談会を開催するとともに、多言語版説明資料(10言語：日・英・中・韓・ロシア・インドネシア・タイ・タガログ・スペイン・ポルトガル)を更新しホームページに掲載した。

ア 上越会場「日本語を母語としない子どもと保護者のための進学ガイダンス」の開催

- ・期日及び会場：8月30日(日)、上越市市民プラザ
- ・参加者：5カ国(中国、フィリピン、ペルー、ブラジル、日本) 25名

イ 下越会場「外国につながる子どもたちと保護者のための進路ガイダンス」の開催

- ・期日及び会場：11月15日(日)、新発田市地域交流センター
- ・参加者：7カ国(中国、フィリピン、パキスタン、メキシコ、アメリカ、バングラデシュ、日本) 68名



進路ガイダンス(下越会場)

7. 留学生支援事業 18,775,874円

(1) 県内大学院グローバル化促進事業

県内大学院のアジア地域からの私費留学生を対象に、将来の日本と本国とのビジネス交流の架け橋となる人材を育成し、新潟を拠点とした国際的な人的ネットワーク形成と「選ばれる新潟」を推進するため、授業料の2分の1以内の奨学金を交付した(平成26年度認定者に2年次奨学金を交付し本事業は終了)。

- ・助成実績：合計17,175,300円

国際大学14名、新潟大学7名、事業創造大学院大学8名、計29名

Ⅳの 1 基盤強化（民間活動活発化） 3,696,154 円

8. 民間団体助成事業 2,192,958 円

(1) 国際化推進活動助成金の交付

民間団体等が実施する国際交流等の活動を支援し、地域における活動の一層の促進を図るため、活動助成金を交付した(年2回)。

- ・助成実績：民間団体等 15 団体、計 2,174,000 円
- ・事業内容：国際交流、人材育成、多文化共生推進等

(2) 研修室等の貸出

民間団体の国際交流活動を促進するため、国際交流プラザや研修室の貸出を行った。

- ・利用時間：原則として平日の 14 時～21 時、土日・祝日の 9 時～21 時
- ・利用件数：33 件

9. 民間団体ネットワーク構築事業 319,774 円

(1) 国際交流連絡会議

県内 3 地域において、市町村や民間団体等と情報交換・意見交換を行う国際交流連絡会議を開催した。

- ① 新潟会場 ・期日及び会場：4 月 22 日(水)、朱鷺メッセ
・参加者：34 団体 39 名
- ② 長岡会場 ・期日及び会場：4 月 23 日(木)、まちなかキャンパス長岡
・参加者：15 団体 19 名
- ③ 上越会場 ・期日及び会場：4 月 24 日(金)、上越市市民プラザ
・参加者：7 団体 11 名

10. 在外県人会活動支援事業 1,183,422 円

ブラジル、アルゼンチン、ホノルル、ペルー、パラグアイの各新潟県人会及び新潟県海外移住家族会(平成 27 年度で解散)に対し、活動を支援するための助成金を交付した。

団体名	助成額(円)
ブラジル新潟県人会	450,000
ホノルル新潟県人会	150,000
アルゼンチン新潟県人会	150,000
パラグアイ新潟県人会	150,000
ペルー新潟県人会	150,000
新潟県海外移住家族会	100,000
合計	1,150,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 1,916,174 円

11. 人材育成事業 1,916,174 円

民間国際交流団体の人材育成や次世代を担う若者の国際理解の推進を図るため、講座やワークショップ等を開催した。

(1) 災害多言語支援ボランティア育成事業

災害時の外国人支援や支援体制について共通認識を持ち、有事の際に速やかな連携が図れるようにするため、県、市町村、社会福祉協議会等の職員、当協会登録ボランティア及びボランティア希望者を対象とした研修を実施した。

- ・ 期日及び会場：平成 28 年 1 月 9 日(土)、朱鷺メッセ
- ・ 内容：災害時外国人支援セミナー、ワークショップ、模擬訓練
- ・ 講師：(公社)中越防災安全推進機構事務局長 諸橋和行氏
(公財)柏崎地域国際化協会事務局長 清水由美子氏
長岡市国際交流センター長 羽賀友信氏
- ・ 参加者：33 名

(2) 医療通訳育成支援事業

外国人患者も安心して医療を受けることができるよう支援する「医療通訳」について、医療通訳制度の実施を目指す民間団体である「にいがた医療通訳実行委員会」の取組を支援し、平成 28 年度に研修を実施し医療通訳者を育成するため、医療通訳者の育成研修の前段として同団体との共催により「医療通訳導入講座」を開催した。

- ・ 期日及び会場：平成 28 年 3 月 6 日(日)、朱鷺メッセ
- ・ 講師：明治学院大学教授・四谷ゆいクリニック院長 阿部裕氏
新潟県立大学教授・にいがた医療通訳実行委員会代表 坂口淳氏
- ・ 参加者：102 名



災害時外国人支援模擬訓練



医療通訳導入講座

(3) ボランティアバンクの運営

国際交流イベントを支援する意志のある者を「通訳・翻訳ボランティア」あるいは「アースサポーター(イベント運営ボランティア)」としてボランティアバンクに登録し、主催者からの要請に基づきボランティア保険を付保して派遣した。

また、登録ボランティアに対する研修会を実施し、ボランティアの資質向上及びボランティアバンクのさらなる活性化を図った。

ア 通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 141 名
(英語 82 名、中国語 33 名、韓国・朝鮮語 18 名、スペイン語 3 名、ロシア語 3 名、その他の言語 2 名)
- ・アースサポーター登録者数 63 名
- ・イベント等への派遣 要請 11 件、派遣 33 名

イ 通訳ボランティアセミナーの開催

登録者を対象に通訳技術の向上等を図る

セミナーを開催した。

- ・期日及び会場：平成 28 年 2 月 28 日(日)、
朱鷺メッセ
- ・講師：通訳案内士 宮城京子氏
- ・参加者：57 名



通訳ボランティアセミナー

(4) 国際交流インストラクター養成事業

〔新潟国際情報大学、敬和学園大学、新潟県立大学、上越教育大学連携事業〕

大学生 104 名（国情大 43 名、敬和大 18 名、県立大 26 名、上教大 17 名）を国際交流インストラクターに委嘱し、小中学生・高校生等を対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるための国際理解ワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内 33 校(小学校 16 校、中学校 7 校、中等教育学校 3 校、高等学校 7 校)
- ・テーマ：「世界の現実」、「世界の不平等」、「異文化理解」

(5) NGO スタッフ育成講座

国際交流・国際協力等を目的に設立された既存の NGO 団体のスタッフやこれから NGO 活動を始めたい人を対象とする研修会を(特活)にいがた NGO ネットワークに委託して開催し、NGO で活動する人材の育成を図った。

- ・期日及び会場：平成 28 年 3 月 12 日(土)、クロスパルにいがた

(6) 国際理解教育推進重点校設置事業

県内の中学校・高等学校等における国際理解教育の推進を図るため、モデル校を選定し、国際交流インストラクターによる国際理解ワークショップの受講、国際理解講座の受講等の国際理解教育メニューに取り組んでもらった。

- ・実施校数：中学校 2 校、高等学校 3 校、中等教育学校 2 校

Ⅳの3 基盤強化（広報情報提供） 1,249,455 円

12. 広報・ライブラリー運営事業 670,070 円

県内団体や一般県民等に対し、国際交流や国際協力に関する情報及び当協会の事業等に関する情報を広く提供した。

(1) 広報誌の発行(再掲)

県内における国際交流や多文化共生推進の取組を紹介することにより県民の国際理解を促進するため、県民を対象とした広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学等や公共施設等に配付した。

- ・発行時期：7月(第4号)、9月(第5号)、平成28年1月(第6号)、
3月(第7号)
- ・配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体等
計14,000部
【英語版】 県内大学等、公民館、図書館、市町村等 計4,000部

(2) 年次報告書の発行

当協会の事業について周知を図るとともに関係機関から事業推進への協力を得るため、平成26年度事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係各所に配布した。

(3) PR記事掲載

イベント「夏休み国際交流プラザフェア」の開催及び賛助会員の募集について朱鷺メッセのフリーペーパー「トッときガイド」を活用してPRした。

(4) プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物)を整備し、県民の利用に供した。

ア 蔵書等の状況(平成28年3月末現在)

- ・図書4,116冊
- ・各種団体発行物
(一財)自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等
- ・開発途上地域でのNGO活動を伝える映像資料等(ビデオ533本、DVD59本、CD134本、CD-ROM8本)
- ・雑誌31誌
- ・新聞 日本語2紙(新潟日報、日本経済新聞)
外国語4紙(イズベスチャー、ジャパントイムズ、人民日報、東亜日報)
- ・その他(県内外のNGOや全国の国際交流協会の機関誌、語学学習用教材等)

イ 蔵書等の活用

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物)を県民の利用に供した(貸出は賛助会員のみ)。

13. I T活用促進事業 366,978 円

多言語ホームページ(日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語)を運営し各種情報を掲載するとともに、県協会ニュースや関連団体の県内外イベント情報等を定期的にメールマガジンとして配信(配信先 414 カ所)した。また、フェイスブックでも情報を発信した。

14. 賛助会員募集事業 58,269 円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	23 年度末	24 年度末	25 年度末	26 年度末	27 年度末
個人	35	30	32	42	38
団体	60	53	56	65	61
計	95	83	88	107	99

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 24 件) (県立近代美術館割引券利用件数 2 件)
団体会員	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出(33 件) ・国際化推進活動助成金の交付 (15 団体、総額 2,174,000 円) ・印刷機の利用
個人会員 団体会員 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書貸出 ・国旗貸出(100 件)、 ふれあい地球人ボックス貸出(16 件)

15. 国旗等貸出事業 154,138 円

国際交流活動を行う賛助会員や団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス(民族衣装・グッズ等)の貸出を行った。

- ・貸出実績：国旗 34 団体 100 件、
地球人ボックス 11 団体 16 件